

平成29年度糸満市ふるさと応援寄附金活用事業 実施報告書

糸満市教育委員会では、皆様より寄せられたご寄附を市内の児童生徒の就業意識向上を目的に糸満市地域連携協議会の「糸満市地域型就業意識向上支援事業」に活用しました（糸満市ふるさと応援寄附金充当額：1,376,000 円）。

<わくわくセカンドスクール>

協力校：沖縄水産高校、南部工業高校、南部農林高校

① 光洋小学校 5年生（73名） 平成29年7月4日～6日

② 糸満南小学校 5年生（88名） 平成29年10月11日～13日

わくわくセカンドスクールでは、2泊3日の宿泊体験のなかで、協調性と自主性を育むため、グループ行動をします

プログラムでは、様々な職種に触れることで、将来の高校選択や職業選択の際に、児童生徒の選択肢の幅が広がることを目的に実業高校での体験を組み入れました。

（1日目）沖縄水産高校では、カッター体験や手旗信号体験などのグループ活動やマグロ解体ショー、車椅子サッカーやアイマスク体験をしました。



（カッター体験）



（高校生によるマグロ解体ショー）



（車椅子サッカー）



（アイマスク体験）

(2日目) 南部農林高校では、酪農体験や農業体験などで、身近な食材が人の手によって生産されていることを再体験しました。

南部工業高校では、ソーラーカーの仕組みなど様々なものづくり体験をしました。



(高校生による世話の仕方の説明)



(生徒制作のソーラーカーへ体験乗車)

<子供映像クリエイタースクール>

期 間：平成29年5月～9月（糸満市立西崎太陽児童センター）

参加者：市内小中学生

講 師：仲宗根美幸（子供社長クリエイタースクール学校長/代表）

クリエイタースクールでは、普段触れることのできない映画制作について、第一線で活躍する講師に学び、触れ合うなかで生きる楽しみや活力を生み出すことを目的にしました。映画制作の過程で相手への思いやりや協力、コミュニケーション・創造力や想像力を養うために協働制作で行っています。



(カメラワークの講義)



(現場取材の方法を学ぶ)

祈りのまち糸満にちなんで、テーマは「平和について」です。

前半は、映画制作に必要な脚本、監督、動画、写真、照明、録音、マンガ、特殊メイ

クなど、取材に必要なことを学び、後半はチームごとに現場取材を行いました。この取組で制作した8作品を米ニューヨークでのグローバルフィルムフェスティバルに応募して、4作品が入賞しました。内1作品は「最高賞」を受賞しました。

<成果発表>

事業の集大成として、糸満市地域型就業意識向上支援事業に参加した学校については、平成30年2月3日（土）沖縄科学技術大学院大学（OIST）で開催された「第2回沖縄県キャリア教育シンポジウム」で、舞台発表やポスターセッションなどを行いました。



（光洋小 手旗信号）



（ポスターセッション風景）

体験をとおして子どもたちの感想に、「なんでもやってみようという気持ちを大事にしようと思った」「難しいことにチャレンジしたいと思った」「日々を大切にしたいと思った」などがあり、未来や今を大切にしようという気持ちが高まったことが感じられました。また、参加した職員からも、子どもたちは無限の可能性があると、大人である私たちが体験をとおして再確認させられましたとの声が聞かれました。

参加後の子どもたちのアンケートには、将来の夢や進学する高校などへの希望あふれる回答が多くありました。中には、参加後、積極的にクラス代表に立候補する子などが現れたと喜びの声を届けてくれる学校もありました。

皆様の応援のおかげです。ほんとうにありがとうございました。